

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-211746

(43)公開日 平成6年(1994)8月2日

(51)Int.Cl. <sup>5</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
C 0 7 C	69/28	9279-4H		
	69/30	9279-4H		
	69/86	9279-4H		
	233/65	7106-4H		
	233/69	7106-4H		

審査請求 未請求 請求項の数 2 F D (全 9 頁) 最終頁に続く

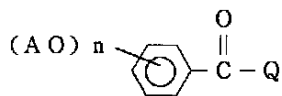
(21)出願番号	特願平5-21633	(71)出願人	000006769 ライオン株式会社 東京都墨田区本所 1 丁目 3 番 7 号
(22)出願日	平成 5 年(1993) 1 月 18 日	(72)発明者	奥町 哲行 東京都墨田区本所一丁目 3 番 7 号 ライオン株式会社内
		(72)発明者	新谷 園子 東京都墨田区本所一丁目 3 番 7 号 ライオン株式会社内
		(72)発明者	水島 直樹 東京都墨田区本所一丁目 3 番 7 号 ライオン株式会社内
		(74)代理人	弁理士 阿形 明 (外 1 名) 最終頁に続く

(54)【発明の名称】 ポリフェノール酸誘導体及び漂白活性化剤

(57)【要約】

【構成】 一般式

【化 1】



[ 2 個以上の A は同じでも異なってもよく、その中の少なくとも 1 個は R-CO-基 (R は C<sub>3</sub>~<sub>11</sub> のアルキル基又はアルコキシ基)、他は水素原子又は炭化水素基、-CO-Q はカルボキシル基、その塩、カルボン酸エステル基又はカルボン酸アミド基、n は 2 又は 3 である] で表わされるポリフェノール酸誘導体、及び該ポリフェノール酸誘導体から成る漂白活性化剤である。

【効果】 上記ポリフェノール酸誘導体は文献未載の新規化合物であって、漂白活性化剤として優れた性能を有し、過酸化系漂白剤にこのものを配合したものは、漂白効果が優れ、かつ被処理物に対して変退色を生じさせることが少ない。